

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【公開番号】特開2010-259020(P2010-259020A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2009-110011(P2009-110011)

【国際特許分類】

H 04 W 36/08 (2009.01)

H 04 W 16/26 (2009.01)

H 04 W 92/20 (2009.01)

H 04 W 84/18 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 3 0 6

H 04 Q 7/00 2 3 1

H 04 Q 7/00 6 9 2

H 04 Q 7/00 6 3 3

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月14日(2011.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1リレーノードと第2リレーノードとが無線ペアラを介して接続されており、該第2リレーノードと無線基地局とが無線ペアラを介して接続されている場合に、移動局が、該第1リレーノードとの間で無線ペアラを設定し該第1リレーノードと該第2リレーノードと該無線基地局とを介して通信を行っている第1状態から、該無線基地局との間で無線ペアラを設定し該無線基地局を介して通信を行っている第2状態に切り替わるハンドオーバ方法であって、

前記第1リレーノードが、前記第2リレーノードに対して、第1ハンドオーバ要求信号を送信する工程と、

前記第2リレーノードが、前記第1ハンドオーバ要求信号を受信すると、前記無線基地局に対して、第2ハンドオーバ要求信号を送信する工程と、

前記無線基地局が、前記第2ハンドオーバ要求信号を受信すると、前記第2リレーノードに対して、第1ハンドオーバ要求確認信号を送信する工程と、

前記第2リレーノードが、前記第1ハンドオーバ要求確認信号を受信すると、前記第1リレーノードに対して、第2ハンドオーバ要求確認信号を送信する工程と、

前記第1リレーノードが、前記第2ハンドオーバ要求確認信号を受信すると、前記移動局に対して、前記無線基地局にハンドオーバするように指示するハンドオーバ指示信号を送信する工程とを有することを特徴とするハンドオーバ方法。

【請求項2】

第1リレーノードと第2リレーノードとが無線ペアラを介して接続されており、該第2リレーノードと無線基地局とが無線ペアラを介して接続されている移動通信システムであって、

前記第1リレーノード及び前記無線基地局は、前記第2リレーノードとの間のUnイン

ターフェイスを設定するための無線ペアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているMACレイヤ機能と、該MACレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているRLCレイヤ機能と、該RLCレイヤ機能の上位レイヤとして設けられているPDCPレイヤ機能と、該PDCPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているRRCレイヤ機能とを具備しており、

前記第1リレーノード及び前記無線基地局は、前記無線ペアラ機能の上位レイヤ機能として、IPレイヤ機能と、該IPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているSCTPレイヤ機能と、該SCTPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているX2APレイヤ機能とを具備しており、

前記第2リレーノードは、前記第1リレーノード及び前記無線基地局との間のUnインターフェイスを設定するための無線ペアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているMACレイヤ機能と、該MACレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているRLCレイヤ機能と、該RLCレイヤ機能の上位レイヤとして設けられているPDCPレイヤ機能と、該PDCPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているRRCレイヤ機能とを具備しており、

前記第2リレーノードは、前記無線ペアラ機能の上位レイヤ機能として、IPレイヤ機能と、該IPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているSCTPレイヤ機能と、該SCTPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているX2APレイヤ機能とを具備しており、

ハンドオーバ処理に係る制御信号は、前記第1リレーノード及び前記無線基地局のX2APレイヤ機能と前記第2リレーノードのX2APレイヤ機能との間で終端するように構成されていることを特徴とする移動通信システム。